取扱説明書

ColorEdge®
CG247

カラーマネージメント液晶モニター

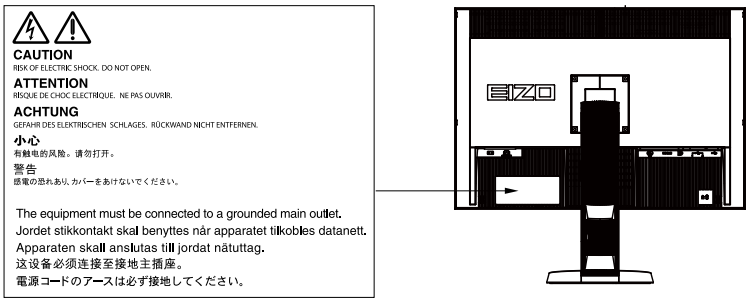
重要

ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

- **コンピュータなど、外部機器との接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドを参照してください。**
- **最新の取扱説明書は、当社のWebサイトからダウンロードできます。**
  http://www.eizo.co.jp

EIZO®

警告表示位置



製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途の他、色の再現性を重視する映像制作、グラフィック制作やデジタルフォト加工の用途にも適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約7分（当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて7分以上経過するまでお待ちください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

キャビネットやパネル面の汚れは、付属の「ScreenCleaner」を使用してやさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

表紙 1

モニターについて 3

クリーニングの仕方 4

モニターを快適にご使用いただくために 4

目次 5

第 1 章　はじめに 7

1-1.　特長 7

1-2.　各部の名称と機能 9

- 前面 9
- 背面 10

1-3.　EIZO LCDユーティリティディスクについて ..11

- ディスクの内容と概要 11
- ColorNavigatorを使用するときは 11

1-4.　基本操作と機能一覧 12

- 調整メニューの基本操作方法 12
- ボタンガイドを表示する 13
- 機能一覧 13

第 2 章　画面を調整する 15

2-1.　解像度を設定する 15

- 対応解像度/フォーマット 15
- 信号フォーマットを切り替える（HDMI信号入力のみ） 16
- OSの表示解像度を設定する 16
- 表示サイズを切り替える 17

2-2.　表示モード（カラーモード）を選択する 19

2-3.　カラー調整をする 20

- ブライトネス（明るさ）を調整する 20
- 色温度を調整する 21
- ガンマを調整する 22
- 色域を設定する 22
- 詳細な調整をする 23

2-4.　動画性能を設定する 26

2-5.　カラースペースを指定する 27

2-6.　信号の出力レンジを拡張する 28

- 出力レンジを拡張する 28
- 拡張するレンジを選択する 28

2-7.　HDMIの設定をする 29

- ノイズを低減する 29
- インターレース信号の表示方法を選択する 29
- セーフエリアを設定する 30

第 3 章　モニターの設定をする 31

3-1.　調整メニューを設定する 31

- 言語を選択する 31
- 設置方向を設定する 31
- 表示位置を設定する 31

3-2.　使用しない表示モードをスキップする 32

3-3.　EIZOロゴの表示/非表示を設定する 32

3-4.　操作ボタンをロックする 32

3-5.　DUE（Digital Uniformity Equalizer）設定を変更する 33

3-6.　入力信号帯域を設定する 33

3-7.　初期設定に戻す 34

- カラー調整値をリセットする 34
- すべての設定内容をリセットする 34

第 4 章　SelfCalibration 35

4-1.　SelfCalibrationを実行するカラーモードを設定する 35

- CALモードの場合 35
- Standard Modeの場合 35

4-2.　モニターの日時を設定する 36

4-3.　調整スケジュールを設定する 36

4-4.　調整目標を設定する 38

4-5.　SelfCalibrationを実行する 39

4-6.　調整結果を確認する 40

- CALモードの調整結果を確認する 40
- Standard Modeの調整結果を確認する 40

第 5 章　複数の外部機器を接続する 41

5-1.　入力信号を切り替える 42

5-2.　入力信号の切替方法を設定する 42

5-3.　使用しない入力信号をスキップする 42

5-4. USBポートを自動で切り替える.....43
第 6 章 省電力機能について.....44
6-1. パワーセーブを設定する.....44
6-2. フロントボタンの明るさを設定する.....45
6-3. DisplayPortのパワーセーブを設定する.....45
第 7 章 こんなときは.....46
7-1. 画面が表示されない場合.....46
7-2. 画面に関する症状.....47
7-3. その他の症状.....48
7-4. 内蔵キャリブレーションセンサーおよびSelfCalibrationに関する症状.....49
第 8 章 ご参考に.....50
8-1. オプションアーム取付方法.....50
8-2. USB（Universal Serial Bus）の活用について51
● 動作条件.....51
● 設定方法.....51
8-3. モニター情報を表示する.....52
● 信号情報を表示する.....52
● モニター情報を表示する.....52
8-4. 仕様.....53
第 9 章 用語集.....56
付録.....59
商標.....59
ライセンス/著作権.....60
VCCI.....60
その他規格.....60
中国RoHS.....61
アフターサービス.....62

第 1 章　はじめに

1-1. 特長

- 24.0型ワイド画面
- 広色域（Adobe®RGBカバー率：99%）
- 解像度1920×1200対応
- IPSパネルによる水平：178˚、垂直：178˚の広視野角を実現
- フレーム同期モード対応周波数：23.75～30.5Hz、47.5～61.0Hz
- 3系統信号入力搭載（DVI-D×1、HDMI×1、DisplayPort×1）
  - DisplayPort（8bitおよび10bitに対応）※1
  - HDMI（8bit、10bitおよび12bitに対応）※1、※2
    HDMI入力でPC信号に対応

  ※1 音声は非対応

  ※2 画面表示は最大10bitになります。
- カラーモード機能を搭載
  次の規格で定められた色温度、ガンマ、色域を再現できます。
  - 放送規格「EBU / REC709 / SMPTE-C」
  - デジタルシネマ規格「DCI」
  - Adobe®RGB / sRGB

  「2-2. 表示モード（カラーモード）を選択する」（P.19）参照
- モニター1台ごとの工場出荷時の階調特性とユニフォミティ特性を測定した結果を記載した調整データシート付属
- 縦表示に対応（時計回りに90˚回転）
- 内蔵キャリブレーションセンサーを搭載し、SelfCalibration（セルフキャリブレーション）によるモニター単独でのキャリブレーションに対応

  「第 4 章 SelfCalibration」（P.35）参照
- モニター特性の測定と調整、カラープロファイルの作成が可能なカラーマネージメントソフトウェア「ColorNavigator」を添付

  「1-3. EIZO LCDユーティリティディスクについて」（P.11）参照
- 省電力機能
  消費電力を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。この製品は省電力のための機能を搭載しています。
  - 主電源オフ時消費電力0W
    主電源スイッチを装備。
    モニターを使用しない時は、主電源スイッチを切ることで、確実に電源供給が停止します。
- HDCP（著作権保護技術）により保護されたコンテンツを表示可能

⚠ 注意

内蔵キャリブレーションセンサーを使用する際は次の点に注意してください。

内蔵キャリブレーションセンサーに触れない
内蔵キャリブレーションセンサーの測定精度の低下、けがや破損の原因となります。

注意点

- 高温や高湿度の環境は、内蔵キャリブレーションセンサーの測定精度に影響を与えます。次の条件でモニターを保管、または使用することをお勧めします。
  - 温度 30°C以下
  - 湿度 70%以下

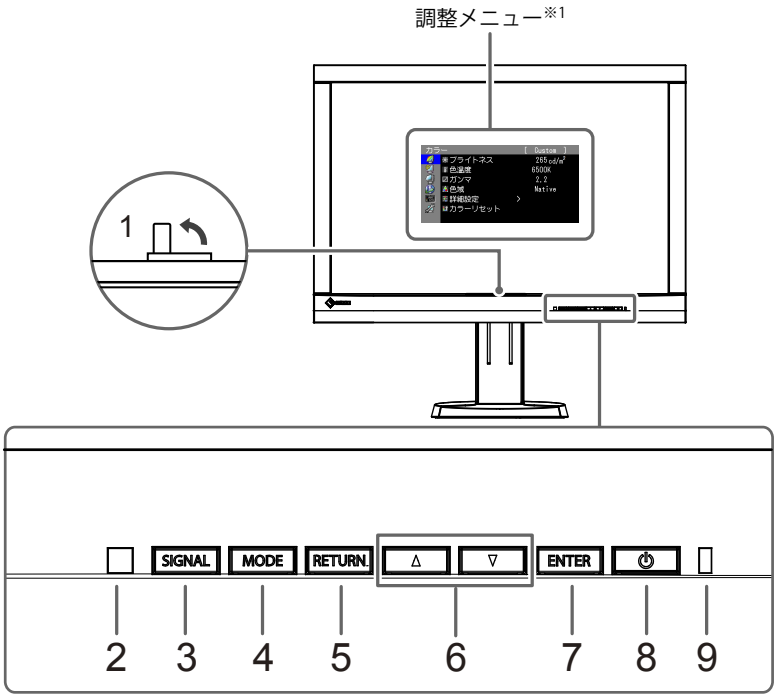
  また、直射日光下での保管、使用を避けてください。
- 内蔵センサーの測定結果に影響が出る場合があるため、測定中に内蔵センサーの受光部に入る環境光が大きく変わらないようにしてください。
  - 遮光フードの装着をおすすめします。
  - 測定中はモニターに顔やものを近づけたり、センサーをのぞき込まないようにしてください。
  - 受光部に外部の光が直接入らないような環境にモニターを設置してください。

参考

- このモニターは縦表示および横表示に対応しています。縦表示にした場合は、調整メニューの向きを変更することができます。「設置方向を設定する」（P.31））参照）。
- モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください（http://www.eizo.co.jp）。

1-2. 各部の名称と機能

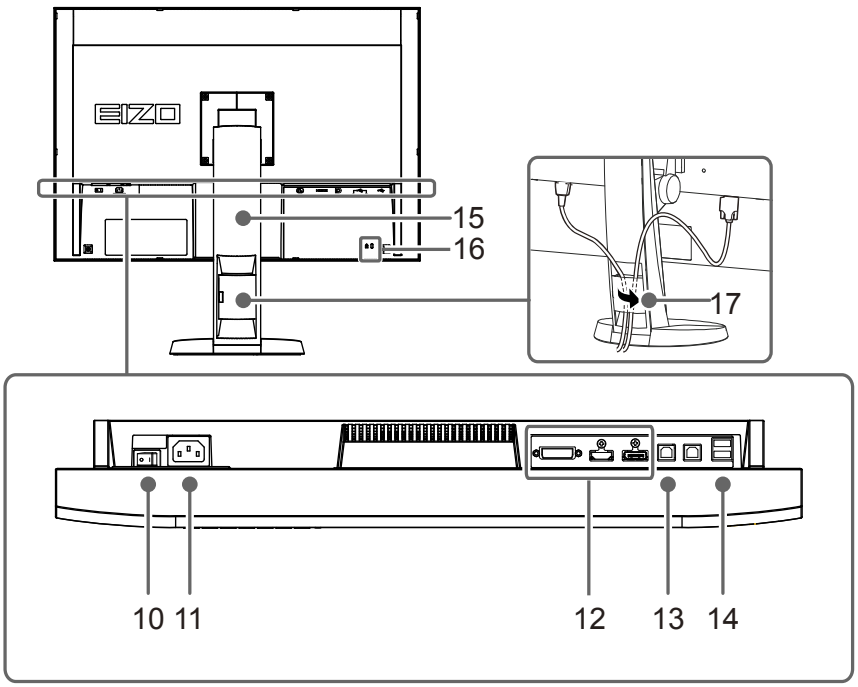
● 前面



1. 内蔵キャリブレーションセンサー	モニター単独でキャリブレーションをおこなうためのセンサーです。 SelfCalibration（セルフキャリブレーション）機能（P.35）
2. 環境光センサー	環境光を測定するセンサーです。
3. SIGNAL ボタン	表示する入力信号を切り替えます（P.42）。
4. MODEボタン	カラーモードを切り替えます（P.19）。
5. RETURNボタン	調整 / 設定をキャンセルしたり、調整メニューを表示します。
6. ▲▼ボタン	• 調整メニューの選択や、機能の調整または設定をします。 • 明るさ（ブライトネス）メニューを表示します（P.20）。
7. ENTERボタン	調整メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。
8. ⏻ボタン	電源のオン / オフを切り替えます。
9. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 青：　画面表示 青点滅（すばやく 2 回）：　SelfCalibration のスケジュール（P.36）を設定した場合に、再キャリブレーション実行の必要性を通知 橙：　省電力モード 消灯：　主電源 / 電源オフ

※1 使用方法は、「1-4. 基本操作と機能一覧」（P.12）を参照してください。

● 背面



10. 主電源スイッチ	主電源のオン / オフを切り替えます。
11. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
12. 信号入力コネクタ	左：DVI-D コネクタ / 中：HDMI コネクタ / 右：DisplayPort コネクタ
13. USBアップストリームポート	USB 接続が必要なソフトウェア、USB ハブ機能を使用する場合に USB ケーブルを接続します（P.51）。
14. USBダウンストリームポート	USB に対応している周辺機器と接続できます。
15. スタンド※2	高さと角度が調整できます。
16. 盗難防止用ロック	Kensington 社製の MicroSaver セキュリティシステムに対応しています。
17. ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。

※2 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります（「8-1. オプションアーム取付方法」（P.50）参照）。

1-3. EIZO LCDユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCDユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txtまたは「お読みください」を参照してください。

内容	概要	Windows	Macintosh
Readmeja.txt または「お読みください」ファイル		○	○
ColorNavigator	モニター特性の測定と調整、ICC プロファイル（for Windows）、Apple ColorSync プロファイル（for Macintosh）の作成がおこなえるソフトウェアです。 （USB ケーブルによるモニターとコンピュータの接続が必要です。）	○	○
画面調整パターン集 ※1	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。	○	-
モニターの取扱説明書（PDF ファイル）		○	○

※1 この製品はアナログ信号入力に対応していないため使用しません。

● ColorNavigatorを使用するときは

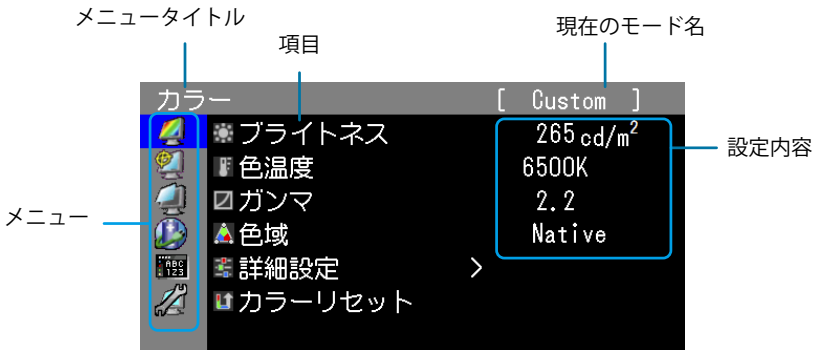
インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。ソフトウェアを使用する場合は、モニターとコンピュータを付属のUSBケーブルで接続してください。USBケーブルの接続方法は、「8-2. USB（Universal Serial Bus）の活用について」（P.51）を参照してください。

1-4. 基本操作と機能一覧

● 調整メニューの基本操作方法

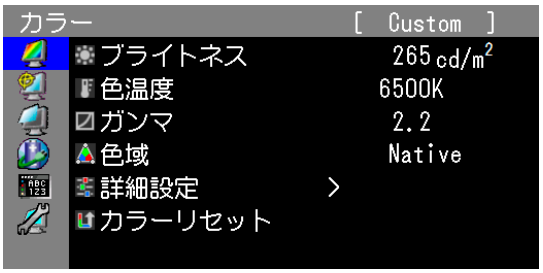
1. 調整メニューの表示

1. ENTER を押し、調整メニューを表示します。

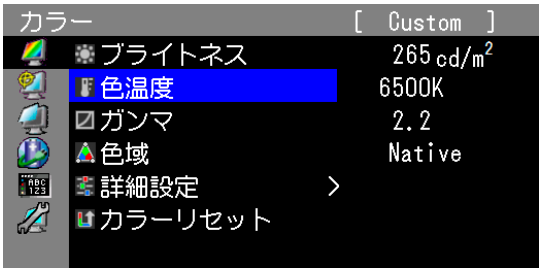


2. 調整/設定

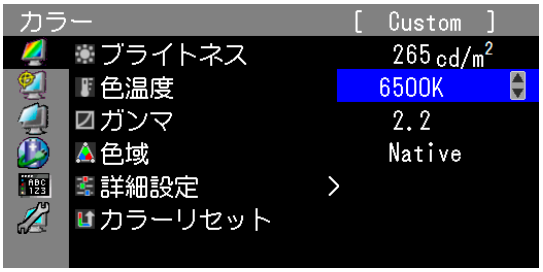
1. ▲▼で、調整/設定したいメニューを選択し、 ENTER を押します。



2. ▲▼で、調整/設定したい項目を選択し、 ENTER を押します。



3. ▲▼で、調整/設定し、 ENTER を押して確定します。

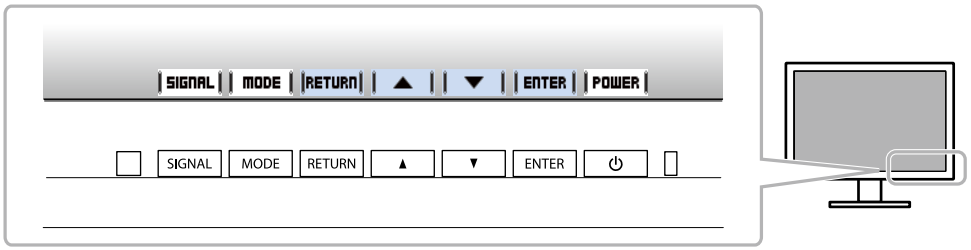


3. 終了

1. RETURN を数回押すと、メニューを終了します。

● ボタンガイドを表示する

フロントボタン（⏻ボタンを除く）を押すと、ボタンの近くにボタンガイドが表示されます。



参考

- 調整メニューおよびモードメニュー表示中は、ボタンガイドが常に画面に表示されます。
- ボタンガイドの表示内容は、表示しているメニューや状態によって異なります。
- CALモードでは▲▼ボタンの上にボタンガイドが表示されますが、輝度の調整はできません。

● 機能一覧

調整メニューおよび各メニューの設定項目の一覧表です。

メインメニュー	項目		参照先
カラー（Standard Mode）※1	ブライトネス		「2-3. カラー調整をする」（P.20）
	色温度		
	ガンマ		
	色域		
	詳細設定	色合い	
		色の濃さ	
		クリッピング	
		ゲイン	
		黒レベル	
		6 色調整	
	カラーリセット		「3-7. 初期設定に戻す」（P.34）
カラー（CAL モード）※2	目標	SelfCalibration	「4-1. SelfCalibration を実行するカラーモードを設定する」（P.35）
		輝度	「4-4. 調整目標を設定する」（P.38）
		白色点	
		色域	
		色域設定	
		ガンマ	
	結果閲覧	調整結果	「4-6. 調整結果を確認する」（P.40）
		環境光	
	カラーリセット		「3-7. 初期設定に戻す」（P.34）

SelfCalibration	実行		「4-5. SelfCalibration を実行する」(P.39)
	Standard Mode	SelfCalibration	「4-1. SelfCalibration を実行するカラーモードを設定する」(P.35)
		結果閲覧	「4-6. 調整結果を確認する」(P.40)
	設定	スケジュール	「4-3. 調整スケジュールを設定する」(P.36)
		時計合わせ	「4-2. モニターの日時を設定する」(P.36)
スクリーン	画面サイズ		「表示サイズを切り替える」(P.17)
	オーバードライブ		「2-4. 動画性能を設定する」(P.26)
	カラースペース		「2-5. カラースペースを指定する」(P.27)
	レンジ拡張	レンジ拡張	「2-6. 信号の出力レンジを拡張する」(P.28)
		スーパーホワイト	
	HDMI 設定 ※3	ノイズリダクション	「2-7. HDMI の設定をする」(P.29)
		フィルム検出	
		セーフエリア	
		セーフエリアサイズ	
		ボーダーカラー	
Power Manager	パワーセーブ		「6-1. パワーセーブを設定する」(P.44)
	ランプ輝度		「6-2. ランプの明るさを設定する」(P.45)
メニュー設定	言語選択		「言語を選択する」(P.31)
	設置方向		「設置方向を設定する」(P.31)
	メニューポジション		「表示位置を設定する」(P.31)
ツール	入力切替		「5-2. 入力信号の切替方法を設定する」(P.42)
	入力スキップ		「5-3. 使用しない入力信号をスキップする」(P.42)
	モードスキップ		「3-2. 使用しない表示モードをスキップする」(P.32)
	USB 選択		「5-4. USB ポートを自動で切り替える」(P.43)
	入力信号情報		「8-3. モニター情報を表示する」(P.52)
	モニター情報		
	オールリセット		「3-7. 初期設定に戻す」(P.34)

※1 Standard Mode（P.19）で調整/設定できる機能を表示しています。
※2 CALモードで調整/設定できる機能を表示しています。
※3 HDMI信号入力の場合に設定できます。

第 2 章　画面を調整する

2-1. 解像度を設定する

● 対応解像度/フォーマット

この製品は次の解像度に対応しています。

PC信号（DVI-D、DisplayPort、HDMI：PC※1）入力時

解像度	垂直走査周波数
640×480	60 Hz
720×400	70 Hz
800×600	60 Hz
1024×768	60 Hz
1280×960	60 Hz
1280×1024	60 Hz
1600×1200	60 Hz
1680×1050	60 Hz
1920×1080	60 Hz
1920×1200※2	60 Hz

※1 HDMI信号入力でPC信号を表示する場合は、事前にモニターの設定を変更しておく必要があります（「信号フォーマットを切り替える（HDMI信号入力のみ）」（P.16）参照）。

※2 推奨解像度です。

ビデオ信号入力時

フォーマット	垂直走査周波数	解像度	スキャン方式	DVI	DisplayPort	HDMI	
						Video※1	PC※2
480p	59.94 Hz / 60 Hz	640×480	プログレッシブ	○※3	○※3	○	○※3
480i	59.94 Hz / 60 Hz	720×480	インターレース	-	-	○	-
480p	59.94 Hz / 60 Hz	720×480	プログレッシブ	-	○※3	○	-
576i	50 Hz	720×576	インターレース	-	-	○	-
576p	50 Hz	720×576	プログレッシブ	-	-	○	-
720p	50 Hz	1280×720	プログレッシブ	○※3	○※3	○	○※3
720p	59.94 Hz / 60 Hz	1280×720	プログレッシブ	○※3	○※3	○	○※3
1080p	23.976 Hz / 24 Hz	1920×1080	プログレッシブ	○※3	○※3	○	○※3
1080p	25 Hz	1920×1080	プログレッシブ	○※3	○※3	○	○※3
1080p	29.97 Hz / 30 Hz	1920×1080	プログレッシブ	○※3	○※3	○	○※3
1080i	50 Hz	1920×1080	インターレース	○※3	○※3	○	○※3
1080p	50 Hz	1920×1080	プログレッシブ	○※3	○※3	○	○※3
1080i	59.94 Hz / 60 Hz	1920×1080	インターレース	○※3	○※3	○	○※3
1080p	59.94 Hz / 60 Hz	1920×1080	プログレッシブ	○※3	○※3	○	○※3

※1 色信号に対応しています。

※2 事前にモニターの設定を変更しておく必要があります。

※3 出力機器を設定する必要があります。詳t細は出力機器の取扱説明書を参照してください。

● 信号フォーマットを切り替える（HDMI信号入力のみ）

モニターが表示できる解像度を切り替えます。HDMI信号入力でPC信号を表示するときに使用します。

設定範囲

Video / PC

設定方法

1. ⏻ を押してモニターの電源を切ります。
2. MODEを押しながら ⏻ を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」で「信号選択」を選択し、ENTERを押します。
4. ▲または▼で設定する入力信号を選択し、ENTERを押します。
5. 選択した入力信号で「Signal Format」を選択し、ENTERを押します。
6. ▲または▼で信号フォーマットを切り替えます。
7. ▲または▼で「完了」を選択します。
8. ENTER を押します。

● OSの表示解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

Windows 8 / Windows 7の場合

1. Windows 8の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
4. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
5. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
6. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
7. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

Windows Vistaの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

Windows XPの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

Mac OS Xの場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

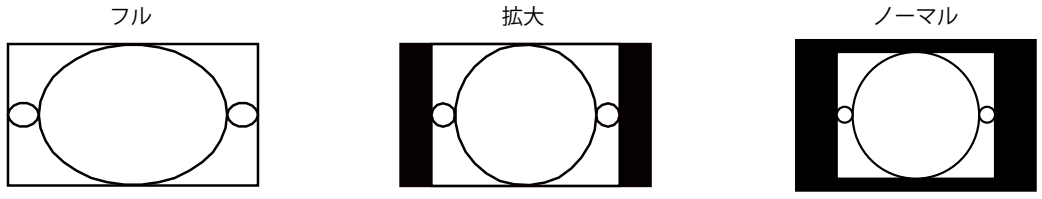
● 表示サイズを切り替える

推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「スクリーン」の「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

PC信号入力時

設定	機能
フル	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	縦横の拡大比率を維持したまま可能な限り画面全体に画像を拡大して表示します。縦横の拡大比率を維持するため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1280×1024を表示した場合



設定方法

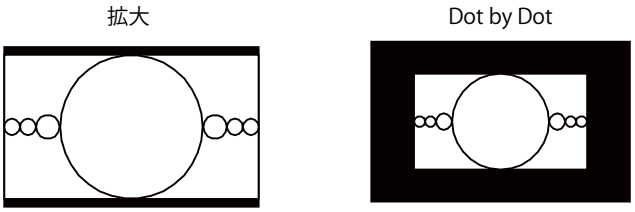
1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「画面サイズ」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「フル」/「拡大」/「ノーマル」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

ビデオ信号入力時

● HD信号（720p、1080i、1080p）表示時

設定	機能
拡大	縦横の拡大比率を維持したまま可能な限り画面全体に画像を拡大して表示します。縦横の拡大比率を維持するため、上下に画像が表示されない部分が残ります。
Dot by Dot	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：720p



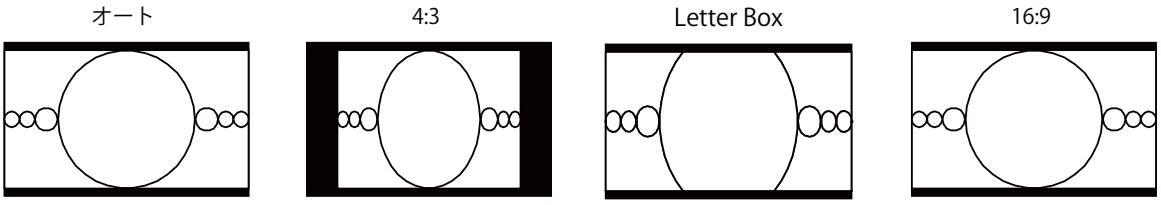
設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「画面サイズ」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で「拡大」/「Dot by Dot」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

● SD信号（640x480、480i、480p、576i、576p）表示時

設定	機能
オート	入力信号のアスペクト比情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。
4：3	4：3 の画面で表示します。画面の左右に黒帯が表示されます。 16：9 サイズの映像は横に圧縮されます。
Letter Box	16：9 のレターボックスを画面全体に表示します。 レターボックス以外は映像の上下が一部切れます。
16：9	16：9 サイズの映像をすべて画面に表示します。映像の上下に黒帯が表示されます。 4：3 サイズの映像は横に広がります。

例：480i/480p （16:9）



設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「画面サイズ」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オート」/「4：3」/「Letter Box」/「16：9」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

2-2. 表示モード（カラーモード）を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

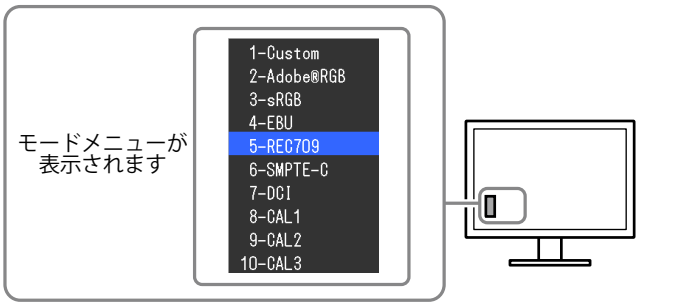
モードの種類

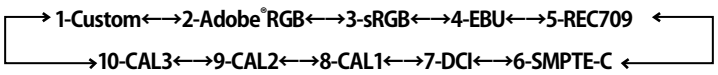
モード		目的
Standard Mode		モニターの調整メニューを使用して色の調整をおこなうモードです。
	1-Custom	好みに応じた色設定をおこなう際に選択します。
	2-Adobe®RGB	Adobe®RGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
	3-sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
	4-EBU	EBU(欧州放送連合）規格で定められた色域、ガンマを再現するのに適しています。
	5-REC709	ITU-R のREC709 規格で定められた色域、ガンマを再現するのに適しています。
	6-SMPTE-C	SMPTE-C 規格で定められた色域、ガンマを再現するのに適しています。
	7-DCI	DCI 規格で定められた色域、ガンマを再現するのに適しています。
CAL モード		ソフトウェアによってモニターの色の調整をおこなうモードです。
	8-CAL1 9-CAL2 10-CAL3	カラーマネージメントソフトウェア「ColorNavigator」およびSelfCalibrationによる調整状態で表示します。

注意点

- ColorNavigatorをご使用の際はモニターの操作をおこなわないようにしてください。

例





設定方法

1. MODE を押します。
   モードメニューが画面左下に表示されます。
2. MODE を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。
   モードメニュー表示中は、▲または▼を押してモードを切り替えることもできます。

参考

- 調整メニューとモード名を同時に表示させることはできません。
- 特定のモードを選択できないようにすることができます。詳細は「3-2. 使用しない表示モードをスキップする」（P.32）を参照してください。

2-3. カラー調整をする

Standard Modeで表示しているときは、調整メニューの「カラー」で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約7分（当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて7分以上経過するまでお待ちください。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「cd/m^2」、「K」、「%」表示は調整の目安としてご利用ください。

● ブライトネス（明るさ）を調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

50cd/m^2～350cd/m^2

設定方法

1. ▲または▼を押します。
   ブライトネスメニューが表示されます。
2. ▲または▼で設定します。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 設定した値にできない場合、値がマゼンタで表示されます。値を変更してください。

参考

- 調整メニューの「カラー」－「ブライトネス」で調整することもできます。

● 色温度を調整する

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定	目的
4000K～10000K	100K単位で色温度値を設定します
Native	パネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）になります。
Adobe®RGB	Adobe®RGBに準拠した色温度になります。
sRGB	sRGBに準拠した色温度になります。
EBU	EBUに準拠した色温度になります。
REC709	REC709に準拠した色温度になります。
REC1886	REC1886に準拠した色温度になります。
SMPTE-C	SMPTE-Cに準拠した色温度になります。
DCI	DCIに準拠した色温度になります。
User	ゲインの値を変更したときの表示です。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「色温度」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する」（P.25）参照）。

● ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定	目的
1.6～2.7	ガンマ値を設定します。
Adobe®RGB	Adobe®RGBで定義されているガンマカーブを設定します。
sRGB	sRGBで定義されているガンマカーブを設定します。
EBU	EBUで定義されているガンマカーブを設定します。
REC709	REC709で定義されているガンマカーブを設定します。
REC1886	REC1886で定義されているガンマカーブを設定します。
SMPTE-C	SMPTE-Cで定義されているガンマカーブを設定します。
DCI	DCIで定義されているガンマカーブを設定します。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「ガンマ」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- ColorNavigatorを使用するとガンマカーブをL*に調整することができます。詳細は、ColorNavigatorの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

● 色域を設定する

モニターの色再現域（色域）を設定します。モニター、デジタルカメラ、プリンターなどの機器で表現できる色の範囲を「色域」といい、様々な規格が定義されています。

設定	目的
Native	パネル本来の色域で表示します。
Adobe®RGB	Adobe®RGBで定義されている色域で表示します。
sRGB	sRGBで定義されている色域で表示します。
EBU	EBUで定義されている色域で表示します。
REC709	REC709で定義されている色域で表示します。
REC1886	REC1886で定義されている色域で表示します
SMPTE-C	SMPTE-Cで定義されている色域で表示します。
DCI	DCIで定義されている色域で表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「色域」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 定義された色域のうち、モニターの色域外の色の表示方法を設定することができます。詳細は、「クリッピングを設定する」（P.24）を参照してください。

● 詳細な調整をする

より詳細な色調整をおこないます。

色合いを調整する

色合いを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「色合い」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

• この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

色の濃さを調整する

色の濃さを調整します。

設定範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「色の濃さ」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

• この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

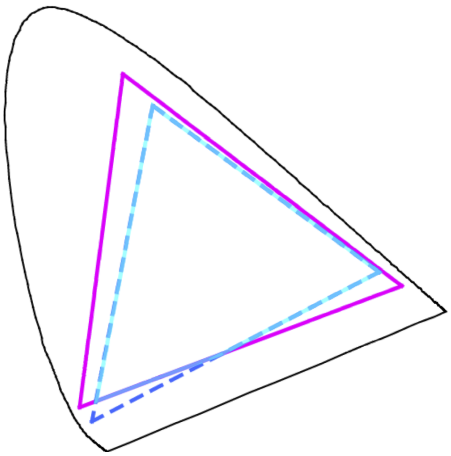
• 最小値（-100）で白黒の画面となります。

クリッピングを設定する

この機能を使用すると、定義された色域のうち、モニターの色域外の色の表示方法を設定できます。

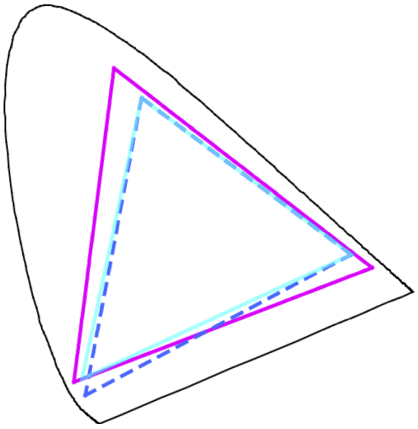
設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「クリッピング」を選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。



オン

規格値で表示します。モニターの色域外の色はモニターの色域内で表現（クリップ）されます。



オフ

色の正確性よりも、階調性を重視して表示します。モニターの色域外の原色（図では青）を、モニターが表示できる最も近い色に設定します。

———	モニターの色域
- - -	規格で定義された色域
———	画面に表示する色域

注意点

- この図は概念図であり、製品の実際の色域を示すものではありません。

5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 「色域を設定する」（P.22）で「Native」を選択したときに機能が無効になります。

ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0%～100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「ゲイン」を選択し、 ENTER を押します。
4. 「Red」、「Green」、「Blue」の中から調整する色を選択し、 ENTER を押します。
5. ▲または▼で設定します。
6. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- この設定は「色温度」を設定すると無効になります。
- 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。

黒の明るさと色を調整する

赤、緑、青のそれぞれの黒レベルを調整することにより、黒の明るさ、色度を調整します。黒いテストパターンまたは背景を表示して黒レベルを調整してください。

調整範囲

0%～100%

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「黒レベル」を選択し、 ENTER を押します。
4. 「Red」、「Green」、「Blue」の中から調整する色を選択し、 ENTER を押します。
5. ▲または▼で設定します。
6. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 黒レベル値が0 の場合、さらに黒を暗くするためにはブライトネスの値を下げてください。

6色調整をする

Magenta、Red、Yellow、Green、Cyan、Blueの色合い、色の濃さおよび明度（明るさ）を個別に調整します。

調整範囲

-100～100

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー」で「詳細設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「6色調整」を選択し、ENTERを押します。
4. 「Magenta」、「Red」、「Yellow」、「Green」、「Cyan」、「Blue」の中から調整する色を選択し、ENTERを押します。
5. 「色合い」、「色の濃さ」、「明度」のいずれかを選択し、ENTERを押します。
6. ▲または▼で設定します。
7. 設定が完了したらENTERを押します。

2-4. 動画性能を設定する

この製品は、オーバードライブ機能を搭載しています。動きの速い画像で見られる残像を抑える機能です。「オン」にしてノイズや残像がかえって目立つ場合は、設定を「オフ」にしてください。
初期設定：「オフ」

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTERを押します。
2. 「スクリーン」で「オーバードライブ」を選択し、ENTERを押します。
3. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

2-5. カラースペースを指定する

入力された信号のカラースペースを指定できます。正しい色が表示できない場合に「オート」以外に設定します。

設定	機能
オート	入力信号のカラースペースを自動的に判別します。
YUV 4:2:2	入力信号のカラースペースを、YUV 4:2:2として扱います。
YUV 4:4:4	入力信号のカラースペースを、YUV 4:4:4として扱います。
RGB	入力信号のカラースペースを、RGBとして扱います。

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「カラースペース」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オート」 /「 YUV 4:2:2」 /「YUV 4:4:4」 /「RGB」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- DVI-HDMI変換コネクタを使用して、DVI機器をモニターのHDMIコネクタに接続している場合、設定が必要です。
- 「オート」に設定した場合でも、正しく表示できない場合があります。

参考

- DVI入力のカラースペースは、常に「RGB」となります。
- 入力信号の範囲を設定する場合は「2-6. 信号の出力レンジを拡張する」（P.28）を参照しください。

2-6. 信号の出力レンジを拡張する

外部機器によっては、モニターに出力する信号のビデオレベルの黒および白が制限されていることがあります。制限されたままモニターに信号を表示すると、黒が淡く、白がくすんで表示され、コントラストが低下します。このような信号を、モニター本来のコントラスト比になるように、出力レンジを拡張して表示することができます。

例：

制限された画像

出力レンジを拡張した画像

● 出力レンジを拡張する

信号の出力レンジを0～255に拡張して表示します。

設定	機能
オン	信号の出力レンジを0～255に拡張して表示します。
オフ	信号の出力レンジの拡張をおこないません。
オート	入力信号の輝度レンジを自動的に判別し、適切に表示します（推奨）。

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「レンジ拡張」を選択し、ENTER を押します。
3. 「レンジ拡張」で「レンジ拡張」を選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」/「オフ」/「オート」のいずれかを選択します。

注意点

- DVI信号入力時は「オート」を選択できません。
- 0～255の信号を表示中に「レンジ拡張」を「オン」にすると黒と白の階調が潰れる場合があります。

5. 設定が完了したら ENTER を押します。

● 拡張するレンジを選択する

信号の拡張方法を選択することができます。「スーパーホワイト」の「オン」または「オフ」で選択します。

設定	機能
オン	信号の出力レンジを16～254から0～255に拡張して表示します。
オフ	信号の出力レンジを16～235から0～255に拡張して表示します。

初期設定：「オフ」

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「レンジ拡張」を選択し、ENTER を押します。
3. 「レンジ拡張」で「スーパーホワイト」を選択し、ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 「レンジ拡張」が「オフ」の場合、設定を変更することはできますが、反映はされません。

2-7. HDMIの設定をする

● ノイズを低減する

映像の暗い部分に発生する細かいノイズを低減します。映像のノイズやざらつきを低減したい場合に使用します。

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「HDMI設定」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「ノイズリダクション」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

・ノイズリダクション機能を利用すると、精細な画像が損なわれる場合があります。

● インターレース信号の表示方法を選択する

インターレース信号を表示する際に、表示方法を選択できます。

映像を自動判別して画像を変換する

映画、CG、アニメーションなどの、毎秒24コマあるいは毎秒30コマの信号を自動的に判別して最適な画像を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「スクリーン」で「HDMI設定」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「フィルム検出」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

・「フィルム検出」を「オン」にした場合に映像に違和感があるときは「フィルム検出」を「オフ」にしてください。

● セーフエリアを設定する

セーフエリアとは、どのような表示機器でも表示できる領域のことをいいます。映像編集などの際にセーフエリアを表示して、特殊なソフトウェアを使用せずに、字幕やメニュー画面などがセーフエリア内に収まるように眼で確認しながら配置することができます。

セーフエリアを表示する

セーフエリアの表示/非表示を設定します。

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTERを押します。
2. 「スクリーン」で「HDMI設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「セーフエリア」を選択し、ENTERを押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したらENTERを押します。

セーフエリアのサイズを設定する

セーフエリアのサイズを設定することができます。

調整範囲

80%～99%

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTERを押します。
2. 「スクリーン」で「HDMI設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「セーフエリアサイズ」を選択し、ENTERを押します。
4. ▲または▼でセーフエリアのサイズを設定します。
5. 設定が完了したらENTERを押します。

セーフエリアの枠の色を設定する

設定方法

1. 調整メニューの「スクリーン」を選択し、ENTERを押します。
2. 「スクリーン」で「HDMI設定」を選択し、ENTERを押します。
3. 「ボーダーカラー」を選択し、ENTERを押します。
4. 「White」、「Red」、「Green」、「Blue」、「Cyan」、「Magenta」、「Yellow」の中からセーフエリアの色を設定します。
5. 設定が完了したらENTERを押します。

第 3 章　モニターの設定をする

3-1. 調整メニューを設定する

調整メニューの言語、設置方向、および表示位置を設定します。

● 言語を選択する

調整メニューやメッセージの言語が選択できます。

選択できる言語

英語/ドイツ語/フランス語/スペイン語/イタリア語/スウェーデン語/日本語/中国語（簡体）/中国語（繁体）

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「メニュー設定」で「言語選択」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で言語を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

● 設置方向を設定する

調整メニューの向きを変更することができます。

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「メニュー設定」で「設置方向」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で「横置き」または「縦置き」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。
5. 「縦置き」を選択した場合は、モニター画面を時計回りに90˚回転します。

注意点

- ケーブル類が正しく接続されているかご確認ください。
- モニターの画面を回転する場合は、いったんスタンドの上限まで画面を引き上げて、上向き（チルト）にしてから回転してください。

参考

- モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください（http://www.eizo.co.jp）。

● 表示位置を設定する

調整メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 調整メニューの「メニュー設定」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「メニュー設定」で「メニューポジション」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で位置を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-2. 使用しない表示モードをスキップする

モードを選択するときに、特定のモードをスキップすることができます。表示するモードが限定されている場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「ツール」で「モードスキップ」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定を変更するモードを選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「-」または「スキップ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

・すべてのモードを「スキップ」にすることはできません。

参考

・初期設定では、使用できるCALモードは入力信号ごとに異なります。

3-3. EIZOロゴの表示/非表示を設定する

この製品の電源を入れたときに、EIZOロゴが表示されます。このロゴの表示/非表示の切り替えができます。

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら ⏻ を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」で「起動ロゴ」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択し、 ENTER を押します。
5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTER を押します。

3-4. 操作ボタンをロックする

設定した状態を変更できないようにします。

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら ⏻ を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」で「操作ロック」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オフ」/「メニュー」/「オール」のいずれかを選択し、 ENTER を押します。

設定	ロックできるボタン
オフ（初期設定）	なし（すべてのボタンが有効）
メニュー	ENTER ボタン
オール	⏻ ボタンを除くすべてのボタン

5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTER を押します。

3-5. DUE（Digital Uniformity Equalizer）設定を変更する

この製品には、デジタルユニフォミティ補正（DUE）機能が搭載され、画面の表示ムラを低減しています。このDUE設定を変更できます。

設定	機能
Brightness	高輝度、高コントラスト比を重視します。
Uniformity	表示ムラの低減を重視します。

注意点

- DUEの設定を変更する場合、画面調整をしているモニターは、画面の再調整が必要になります。ColorNavigatorで目標の調整とコレレーションをやりなおしてください。詳細は、ColorNavigatorの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら ⏻ を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」から「DUE Priority」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「Uniformity」または「Brightness」を選択し、 ENTER を押します。
5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTER を押します。

3-6. 入力信号帯域を設定する

周波数範囲と信号変化の検出感度を切り替えることができます。

注意点

- HDMI入力では使用できません。

設定方法

1. ⏻を押してモニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら⏻を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」で「信号選択」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で設定する入力信号を選択し、 ENTER を押します。
5. 選択した入力信号で「Signal Bandwidth」を選択し、ENTER を押します。
6. ▲または▼で「Normal」、「Wide-1」または「Wide-2」を選択し、ENTER を押します。
7. 設定が完了したら「完了」を選択します。
8. ENTER を押します。

3-7. 初期設定に戻す

設定値を初期設定にリセットします。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「主な初期設定値」（P.54）を参照してください。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー」で「カラーリセット」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「実行」を選択します。
4. ENTER を押します。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します（「オプション設定」メニューおよび「USB選択」を除く）。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「オールリセット」を選択し、ENTER を押します。
3. ▲または▼で「実行」を選択します。
4. ENTER を押します。

第 4 章　SelfCalibration

この製品は、内蔵キャリブレーションセンサーを搭載しています。ColorNavigator と測定器を使って調整した状態を維持することができます。
ColorNavigatorで、事前にSelfCalibration の調整目標や調整間隔の時間を設定することで、内蔵キャリブレーションセンサーが自動的に作動し、定期的にキャリブレーションを実行することができます。
ColorNavigatorを使用する場合は、モニターを操作して設定する必要はありません。
ColorNavigator が使用できない環境の場合には、モニター単体でSelfCalibration をおこなうことができます。

参考

- 内蔵キャリブレーションセンサーの測定結果をご使用の測定器の測定結果に合わせること（コレレーション）ができます。詳細は、ColorNavigatorの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。
- SelfCalibrationはコンピュータの信号が入力されていない状態でもおこなうことができます。

4-1. SelfCalibrationを実行するカラーモードを設定する

● CALモードの場合

CALモードの設定は調整メニューの「カラー」でおこないます。

参考

- 一つの入力信号で複数のCALモードを有効にすることができます。詳細は、「3-2. 使用しない表示モードをスキップする」（P.32）を参照してください。

設定手順

1. 対象としたいカラーモードに切り替えます。
2. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTERを押します。
3. 「カラー」で「目標」を選択し、 ENTERを押します。
   SelfCalibration目標設定画面が表示されます。
4. 「目標」で「SelfCalibration」を選択し、 ENTERを押します。
5. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択し、 ENTERを押します。
6. 設定が完了したら ENTERを押します。

● Standard Modeの場合

Standard ModeでSelfCalibrationを実行すると、モニターの色再現域が更新され、Standard Mode内の各モードの表示を次のように調整します。

- 色温度を規格値に近くなるように補正します。
- 色域をそれぞれの規格値に近くなるように補正します。
- 輝度の情報を更新します。

設定手順

1. 対象としたいカラーモードに切り替えます。
2. 調整メニューから「SelfCalibration」を選択し、 ENTERを押します。
3. 「SelfCalibration」で「Standard Mode」を選択し、 ENTERを押します。
   Standard Mode設定画面が表示されます。
4. 「Standard Mode」で「SelfCalibration」を選択し、 ENTERを押します。
5. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択し、 ENTERを押します。
6. 設定が完了したらRETURNを押します。

4-2. モニターの日時を設定する

モニターの日時を設定します。

注意点

・長時間主電源を切ったままにしておくと、時計の再設定が必要になる場合があります。

参考

・ColorNavigatorを起動すると、日時が自動的に設定されます。詳細は、ColorNavigatorの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

設定方法

1. 調整メニューの「SelfCalibration」を選択し、 ENTERを押します。
2. 「SelfCalibration」で「設定」を選択し、 ENTERを押します。
3. 「設定」で「時計合わせ」を選択し、 ENTERを押します。
4. 時計合わせメニューが表示されます。
5. ▲または▼で日付を設定し、 ENTERを押します。
6. ▲または▼で時刻を設定し、 ENTERを押します。

4-3. 調整スケジュールを設定する

SelfCalibrationの調整スケジュールを設定します。

設定手順

1. 調整メニューの「SelfCalibration」を選択し、 ENTERを押します。
2. 「SelfCalibration」で「設定」を選択し、 ENTERを押します。
3. 「設定」で「スケジュール」を選択し、 ENTERを押します。
   スケジュール設定メニューが表示されます。
4. 「開始タイミング」を選択し、 ENTERを押します。
5. ▲または▼で「開始タイミング」を設定します。
   スケジュールで設定した時刻に到達したときにSelfCalibrationを実行するタイミングを選択します。

設定	機能
オフ	SelfCalibrationを実行しません。
パワーセーブ	次のいずれかの場合に実行します。 ・ 設定時刻に到達した時にパワーセーブまたは電源オフになっている場合 ・ 設定した時刻以降にパワーセーブまたは電源オフに移行する場合
即時	設定時刻に到達するとすぐにSelfCalibrationを実行します。

   設定が完了したらENTERを押します。

6. 「設定方法」を選択し、 ENTERを押します。
   調整スケジュールの設定方法を選択します。

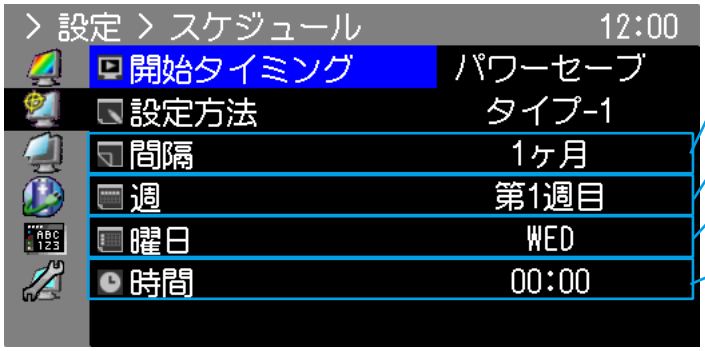
設定	機能	例
タイプ-1	数か月に1回実行します。	1ヶ月に1回、第1週の水曜日午前1:00に実行
タイプ-2	数週間に1回実行します。	4週間に1回、水曜日午前1:00に実行
タイプ-3	モニターの使用時間が、設定した時間を経過したときに実行します。	モニターの使用時間が200h経過したときに実行

   設定が完了したらENTERを押します。

7. 実行する間隔を設定します。

「設定方法」で設定したタイプによって設定内容が異なります。

タイプ-1の場合



何か月に1回実行するか設定します。
1か月～12か月の間で設定します。

月の何週目に実行するかを、
第1週～第5週の間で設定します。

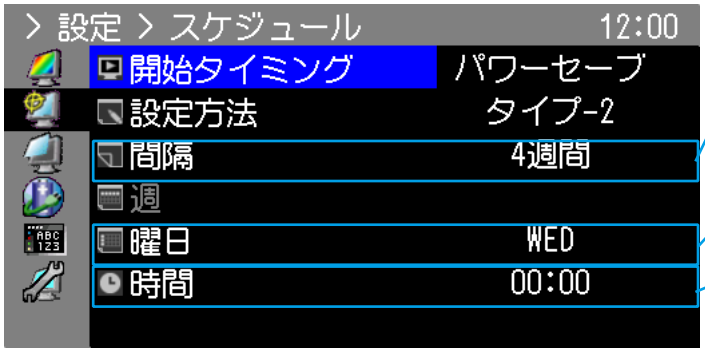
実行する曜日を選択します。
SUN/MON/TUE/WED/THU/FRI/SAT
の中から選択します。

実行する時刻を設定します。
00:00～23:30の間で設定します。

参考

- 「週」で第5週を選択した場合、「曜日」で設定した曜日が第5週目にない場合は第4週目の曜日に実行されます。

タイプ-2の場合

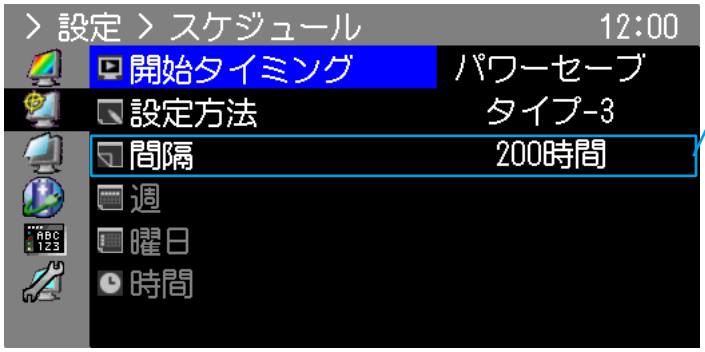


何週間に1回実行するか設定します。
第1週間～第5週間の間で設定します。

実行する曜日を選択します。
SUN/MON/TUE/WED/THU/FRI/SAT
の中から選択します。

実行する時刻を設定します。
00:00～23:30の間で設定します。

タイプ-3の場合



モニター使用時間が何時間経過した
後に実行するか設定します。
50時間～500時間の間で設定します。

設定が完了したらENTERを押します。

8. すべての設定が完了したらRETURNを押します

調整スケジュールが設定されます。

参考

- 設定したタイミングに到達したときに、電源ランプが青色点滅（すばやく2回）します。

4-4. 調整目標を設定する

CALモードでは調整目標として白色点、色域、およびガンマを設定できます。

注意点

・調整目標は表示しているCALモードに対してのみ適用されます。

設定手順

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTERを押します。
2. 「カラー」で「目標」を選択し、 ENTERを押します。
   目標設定画面が表示されます。
3. 「輝度」を選択し、 ENTERを押します。
4. ▲または▼で目標輝度を設定し、 ENTERを押します。
5. 「白色点」を選択し、 ENTERを押します。
   白色点設定画面が表示されます。
   - 色座標を指定する場合は「White(x)」および「White(y)」を選択して ENTERを押し、それぞれの値を設定します。0.2400～0.4500の範囲で設定します。
   - 色温度を指定する場合は、「色温度」を選択して ENTERを押します。

設定	機能
4000K～10000K	100K単位で色温度値を設定します
Adobe®RGB	Adobe®RGBに準拠した色温度になります。
sRGB	sRGBに準拠した色温度になります。
EBU	EBUに準拠した色温度になります。
REC709	REC709に準拠した色温度になります。
REC1886	REC1886に準拠した色温度になります。
SMPTE-C	SMPTE-Cに準拠した色温度になります。
DCI	DCIに準拠した色温度になります。

参考

・色座標を指定すると、自動で「User」になります。

設定が完了したらENTERを押します。

6. 「色域」を選択し、 ENTERを押します。
   色域設定画面が表示されます。各規格で定義されている色域を選択することができます。

設定	機能
Native	パネル本来の色域で表示します。
Adobe®RGB	Adobe®RGBで定義されている色域で表示します。
sRGB	sRGBで定義されている色域で表示します。
EBU	EBUで定義されている色域で表示します。
REC709	REC709で定義されている色域で表示します。
REC1886	REC1886で定義されている色域で表示します。
SMPTE-C	SMPTE-Cで定義されている色域で表示します。
DCI	DCIで定義されている色域で表示します。

参考

・各規格で定義されている色域以外に設定する場合は「色域設定」でRGB各色の色座標を指定します。このとき、「色域」の設定は自動で「User」になります。
・クリッピングは「色域設定」で設定できます。クリッピングの詳細は（「クリッピングを設定する」（P.24））を参照してください。

7. 「ガンマ」を選択し、 ENTERを押します。

設定	機能
1.6-2.7	ガンマ値を設定します。
Adobe®RGB	Adobe®RGBで定義されているガンマカーブを設定します。
sRGB	sRGBで定義されているガンマカーブを設定します。
EBU	EBUで定義されているガンマカーブを設定します。
REC709	REC709で定義されているガンマカーブを設定します。
REC1886	REC1886で定義されているガンマカーブを設定します。
SMPTE-C	SMPTE-Cで定義されているガンマカーブを設定します。
DCI	DCIで定義されているガンマカーブを設定します。

参考

- ColorNavigatorで調整すると、自動で「Fixed」になります。

設定が完了したら ENTERを押します。

8. すべての設定が完了したらRETURNを押します

4-5. SelfCalibrationを実行する

スケジュールに関係なく、手動でSelfCalibrationを実行することができます。

実行方法

1. 調整メニューの「SelfCalibration」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「SelfCalibration」で「実行」を選択し、 ENTER を押します。
   内蔵キャリブレーションセンサーが現れ、SelfCalibrationが実行されます。

注意点

- SelfCalibrationを実行するためには調整目標の設定が必要です。詳細は「4-4. 調整目標を設定する」（P.38）を参照してください。
- 実行を選択後、内蔵キャリブレーションセンサーが出る前にエージングが実行される場合があります。

4-6. 調整結果を確認する

前回のSelfCalibrationの結果を確認することができます。

● CALモードの調整結果を確認する

確認方法

1. 調整メニューの「カラー」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「カラー」で「結果閲覧」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「結果閲覧」で「調整結果」を選択し、 ENTER を押します。
   調整結果画面が表示されます。

注意点

- 環境光センサーの測定結果は、SelfCalibration実行時と現在の環境光の差を確認するためのものであり、SelfCalibration結果へ反映されるものではありません。

参考

- 「環境光」を選択した場合は現在の環境光も表示されます。
- 使用環境が前回と大きく異なる場合、環境光の測定結果は前回調整時と現在では大きく異なるときがあります。

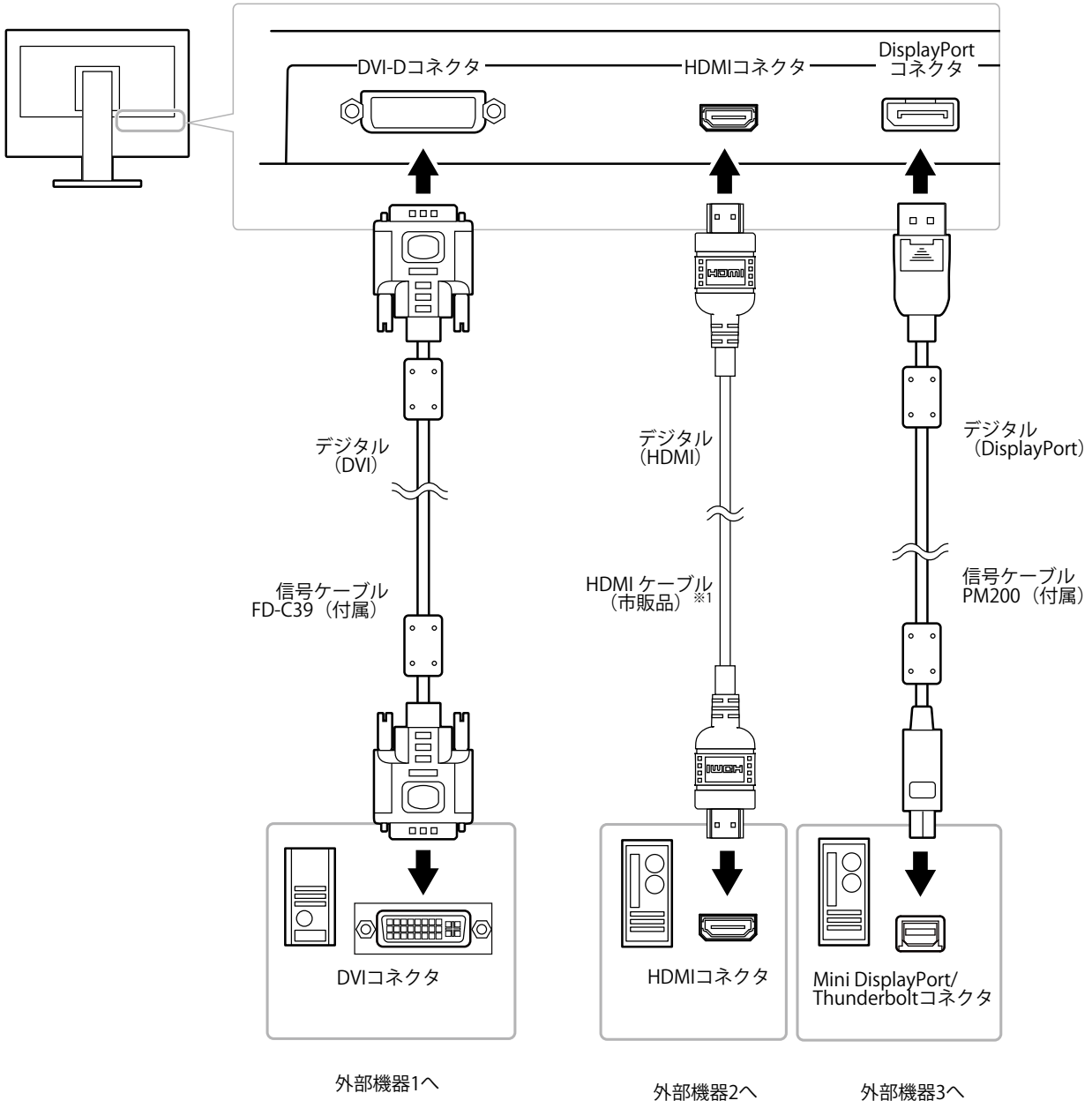
● Standard Modeの調整結果を確認する

1. 調整メニューの「SelfCalibration」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「SelfCalibration」で「Standard Mode」を選択し、 ENTER を押します。
3. 「Standard Mode」で「結果閲覧」を選択し、 ENTER を押します。
   調整結果画面が表示されます。
4. 「結果閲覧」で「環境光」を選択し、 ENTER を押します。
   環境光の測定結果画面が表示されます。

第 5 章　複数の外部機器を接続する

この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

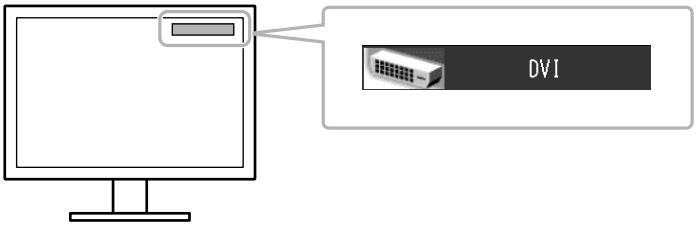
接続例



※1 High Speed 対応品をご使用ください。

5-1. 入力信号を切り替える

SIGNAL を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



5-2. 入力信号の切替方法を設定する

設定	機能
オート	信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。 外部機器が省電力モードに入ると自動的に、他の信号を表示します。
マニュアル	信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択されているコネクタからの信号を表示します。操作ボタンの SIGNAL で表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「ツール」で「入力切替」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「オート」を選択した場合、すべての外部機器が省電力モードに移行した場合のみ、モニターが省電力モードに移行します。

5-3. 使用しない入力信号をスキップする

入力信号を切り替えるときに、不要な入力信号をスキップさせることができます。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「ツール」で「入力スキップ」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定を変更する入力信号を選択してENTER を押します。
4. ▲または▼で「-」または「スキップ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- すべての入力信号を「スキップ」にすることはできません。

5-4. USBポートを自動で切り替える

1台のモニターに2台のコンピュータを接続している場合、入力信号とUSBアップストリームポートを関連付けることができます。これにより、入力信号の切り替えに連動して、USBポートが自動的に切り替わります。2台のコンピュータで1台のモニターをキャリブレーションする場合でも、USBケーブルを接続しなおす必要がありません。また、マウスやキーボードなどのUSB機器をモニターに接続して、2台のコンピュータで使用することができるようになります。

注意点

- 出荷状態ではUSB-2にキャップが付いています。USB-2を使用する場合は、キャップを外してください。
- USBポートを切り替えて使用する場合は、USBケーブルが2本必要です。別途ケーブルを準備してください。
- 設定を変更する際は、モニターにUSBメモリなどの記憶装置を接続している場合、記憶装置を取り外してから設定を変更してください。データの消失、破損の恐れがあります。
- キーボードのキー配列を変更することはできません。

参考

- 「入力切替」機能を「オート」に設定した場合、入力信号に連動してUSBポートも切り替わります。
- USBダウンストリームポートは、表示中のコンピュータで動作することができます。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「ツール」で「USB選択」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で設定する入力信号を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「USB-1」または「USB-2」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

第 6 章　省電力機能について

6-1. パワーセーブを設定する

外部機器の状態と連動してモニターを省電力モードにする/しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- 主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源ボタンで電源を切った場合でも、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- パワーセーブ移行の5秒前になると予告メッセージが表示されます。

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

省電力の流れ

外部機器がコンピュータの場合

DVI信号入力時

「DVI DMPM」に準拠しています。

DisplayPort信号入力時

「DisplayPort Standard V1.1a」に準拠しています。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙

外部機器がコンピュータ以外の場合

外部機器の状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

6-2. フロントボタンの明るさを設定する

画面表示時の電源ランプ（青）および操作ボタンの輝度を設定することができます。
（初期設定：4）

設定方法

1. 調整メニューの「PowerManager」を選択し、 ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「ランプ輝度」を選択し、 ENTER を押します。
3. ▲または▼でランプの明るさを「オフ」または1～7の範囲から好みに応じて選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

6-3. DisplayPortのパワーセーブを設定する

モニターのDisplayPortの電源設定を切り替えることができます。

注意点

・設定を「オン」にした場合、信号を切り替えたときにウィンドウの位置がずれることがあります。 その場合、設定を「オフ」にしてください。

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. MODE を押しながら ⏻ を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「オプション設定」メニューが表示されます。
3. 「オプション設定」より「DP Power Save」を選択し、 ENTER を押します。
4. ▲または▼で「オフ」または「オン」を選択し、 ENTER を押します。
5. ▲または▼で「完了」を選択します。
6. ENTER を押します。

第 7 章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにご相談ください。

7-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	・電源コードは正しく接続されていますか。 ・⏻を押してください。 ・主電源を入れてください。 ・主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
・電源ランプが点灯：青色	・調整メニューの「ブライトネス」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「2-3. カラー調整をする」（P.20）参照）。
・電源ランプが点灯：橙色	・SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。 ・マウス、キーボードを操作してみてください。 ・コンピュータの電源は入っていますか。
・電源ランプが点滅：橙色、青色	・DisplayPort / HDMI接続している機器に問題があります。問題を解決し、モニターの電源を入れなおしてみてください。詳細は出力機器の取扱説明書を参照してください。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
・信号が入力されていない場合の表示です。 例： 	・コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 ・コンピュータの電源は入っていますか。 ・信号ケーブルは正しく接続されていますか。 ・SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。
・入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の周波数はマゼンタで表示されます。） 例： fD：ドットクロック fH：水平走査周波数 fV：垂直走査周波数	・コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「対応解像度/フォーマット」（P.15）参照）。 ・コンピュータを再起動してみてください。 ・グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

7-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	• 調整メニューの「ブライトネス」を調整してください。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。）
2. 文字がぼやけて見える	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「対応解像度/フォーマット」（P.15）参照）。
3. 残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡が消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 画面にノイズが現れる	• 調整メニューの「オーバードライブ」の設定を「オフ」にしてみてください（「2-4. 動画性能を設定する」（P.26）参照）。 • HDCPの信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
7. （DisplayPort信号入力時）ウィンドウの表示位置が変わる	• 信号を切り替えたときにウィンドウの位置がずれることがあります。調整メニューの「DP Power Save」で、設定を「オフ」にしてください（「6-3. DisplayPortのパワーセーブを設定する」（P.45）参照）。
8. （DisplayPortまたはHDMI信号入力時）画面がおかしい	• 調整メニューの「カラースペース」を調整してみてください（「2-5. カラースペースを指定する」（P.27）参照）。 • HDMI信号入力の場合、「信号フォーマット」の設定を変更してみてください（「信号フォーマットを切り替える」（P.16）参照）。
9. 画面全体に画像が表示されない	• 調整メニューの「画面サイズ」の設定を変更してみてください（「表示サイズを切り替える」（P.17）参照）。

7-3. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 調整メニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「「3-4. 操作ボタンをロックする」（P.32）参照）。 • ColorNavigatorを起動している場合は操作ボタンがロックされています。ソフトウェアを終了してください。
2. モードメニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「「3-4. 操作ボタンをロックする」（P.32）参照）。 • ColorNavigatorを起動している場合は操作ボタンがロックされています。ソフトウェアを終了してください。
3. USBケーブルで接続したモニターが認識されない/モニターに接続しているUSB周辺機器が動作しない	• USBケーブルは正しく接続されていますか（「8-2. USB（Universal Serial Bus）の活用について」（P.51）参照）。 • 設定メニューの「USB選択」を確認してみてください（「5-4. USBポートを自動で切り替える」（P.43）参照）。 • 別のUSBポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、EIZOサポートにご相談ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。 • コンピュータを再起動してみてください。 • 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、お買い求めのEIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにご相談ください。 • ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応しているかご確認ください（各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください）。 • Windowsをご使用の場合、コンピュータに搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。
4. 音声を出せない	• この製品はHDMI/DisplayPortの音声信号には対応していません。

7-4. 内蔵キャリブレーションセンサーおよびSelfCalibrationに関する症状

症状	原因と対処方法
1. 内蔵キャリブレーションセンサーが出てこない/出たままになる	• 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
2. SelfCalibrationが実行できない	• 日時が正しく設定されていますか（「4-2. モニターの日時を設定する」（P.36）参照）。 • モード設定がされていますか（「4-3. 調整スケジュールを設定する」（P.36）参照）。 • 調整目標が正しく設定されていますか（「4-4. 調整目標を設定する」（P.38）参照）。 • ColorNavigatorでSelfCalibrationの調整目標を設定してください。
3. SelfCalibrationに失敗する	• エラーコード表を参照してください。エラーコード表にないコードが表示された場合は、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにご相談ください。

エラーコード表

エラーコード	詳細
0014	• SelfCalibrationをやり直してみてください。 • ColorNavigatorで調整してみてください。
0034	• 調整中に内蔵キャリブレーションセンサーが出なかったり、測定中にセンサーに光が入った可能性があります。 • 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてからSelfCalibrationをやり直してみてください。
0050	• SelfCalibrationをやり直してみてください。
0061	• 内蔵キャリブレーションセンサーが正しく動作しなかった可能性があります。 • 内蔵キャリブレーションセンサーの周囲に異物がないか確認してみてください。 • SelfCalibrationをやり直してください。

第 8 章　ご参考に

8-1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。http://www.eizo.co.jp

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。
  -取付部のねじ穴間隔：100mm×100mm
  -プレート部の厚み：2.6mm
  -許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合、取り付けには次のねじをご使用ください。
  -本体部分とスタンドを固定しているねじ
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
  -上45˚下45˚
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。
- 縦置きに設置する場合は、モニター画面を時計回りに90˚回転してください。

取付方法

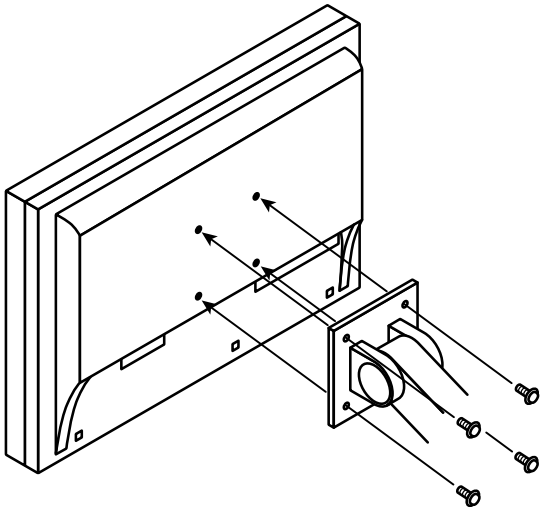
1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

本体部分とスタンドを固定しているねじを使用して取り付けます。



8-2. USB（Universal Serial Bus）の活用について

このモニターはUSBハブを搭載しています。USB対応のコンピュータに接続することにより、この製品がUSBハブとして機能し、USBに対応している周辺機器と接続できます。

● 動作条件

- USB Specification Revision 2.0に準拠したコンピュータ（USBホスト機能を持つ機器を含む）およびOS
- USBケーブル

注意点

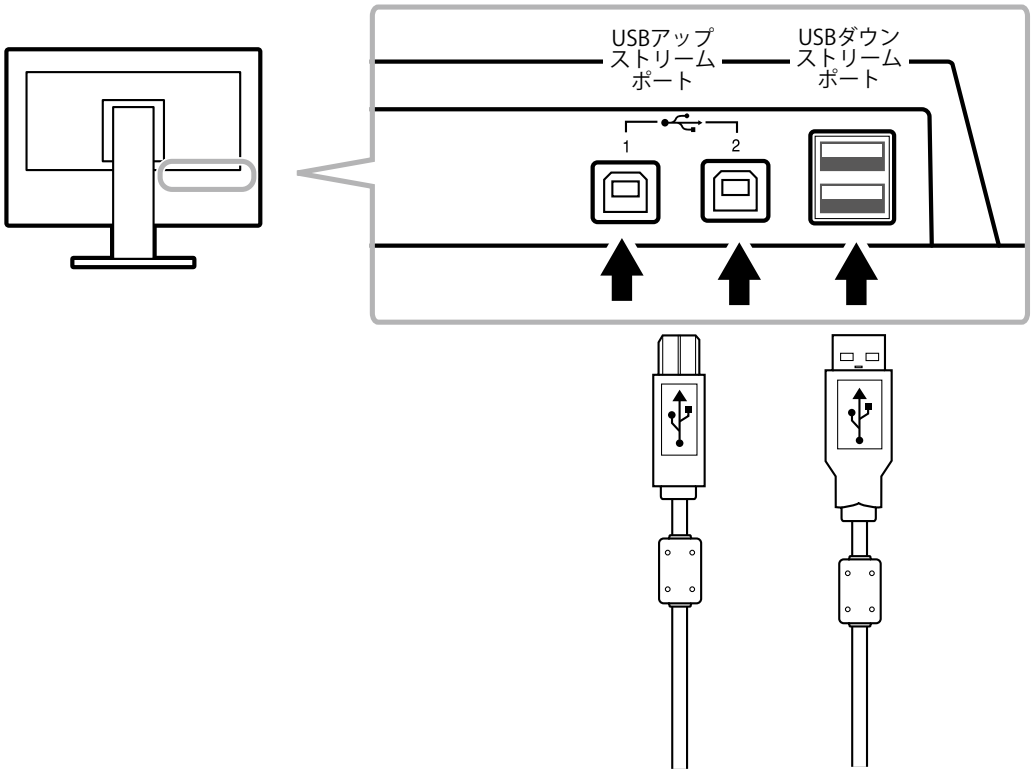
- 使用するコンピュータ、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合、またはモニターの電源ボタンのみで電源が切れている場合でも、USBダウンストリームポートに接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチオフ時、USBダウンストリームポートに接続されている機器は動作しません。

● 設定方法

1. コンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動します。
2. コンピュータのUSB ダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポート1をUSBケーブルで接続します。
3. USB対応の周辺機器をモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。

参考

- 初期設定では、USBアップストリームポート1が有効です。2台のコンピュータを接続する場合は、「5-4. USBポートを自動で切り替える」（P.43）を参照してください。



8-3. モニター情報を表示する

● 信号情報を表示する

現在表示している入力信号の情報を表示します。

設定方法

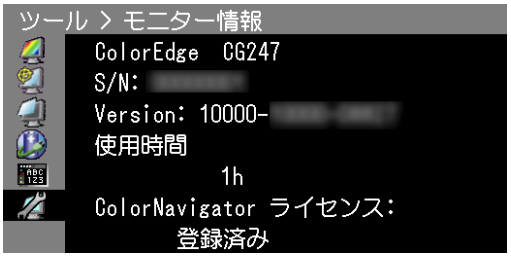
1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「入力信号情報」を選択し、ENTER を押します。
   「入力信号情報」が表示されます。
   （例）

● モニター情報を表示する

この製品に関する情報を表示します。

設定方法

1. 調整メニューの「ツール」を選択し、ENTER を押します。
2. 「ツール」で「モニター情報」を選択し、ENTER を押します。
   「モニター情報」が表示されます。
   製品名、製造番号、ファームウェアバージョン、使用時間、ColorNavigatorライセンスの状態などを表示します。



注意点

・工場での検査のため、最初にモニターの電源を入れたときに使用時間が「0」ではない場合があります。

8-4. 仕様

液晶パネル	サイズ		61cm（24.0）型
	種類		カラーTFT（IPS)
	バックライト		LED
	表示サイズ（水平×垂直）		518.4mm×324.0mm
	視野角（水平/垂直）		178° / 178°
	推奨輝度		120cd/m^{2}以下（色温度：5000K～6500K）
	推奨解像度		1920×1200
	コントラスト比		1000:1（「DUE Priority」：「Brightness」設定時）
	ドットピッチ		0.27mm×0.27mm
	応答速度	黒→白→黒	約12ms
		中間階調域	約7.7ms（オーバードライブ：「オン」時）
	色域表示（標準）	Adobe®RGBカバー率	99%
		NTSC比	110%
映像信号	入力端子		DVI-D×1（Single Link、HDCP対応） HDMI×1（HDCP対応） DisplayPort×1（HDCP対応）
	ドットクロック（最大）		164.5MHz
	水平走査周波数	DVI / DisplayPort	26kHz～78kHz
		HDMI	15kHz～78kHz
	垂直走査周波数	DVI / DisplayPort	23.75Hz～63Hz　（ノンインターレース、720×400時：69～71Hz）
		HDMI	23.75Hz～61Hz　（720×400時：69～71Hz）
		フレーム同期モード	23.75Hz～30.5Hz 47.5Hz～61Hz
	最大表示色	DisplayPort	約10億7374万色（10bit入力時）
		HDMI	約10億7374万色（10bitまたは12bit入力時）
		DVI	約1677万色
	プラグアンドプレイ	DVI / HDMI	VESA DDC2B / EDID structure 1.3
		DisplayPort	VESA DisplayPort / EDID structure 1.4
電源			AC100V±10%、50/60Hz、0.9A
	消費電力	画面表示時	83W以下
		省電力時	0.7W以下　（DisplayPort 1系統入力、入力切替：マニュアル、USB機器非接続時、DP Power Save: オンで、OSがスリープ状態へ移行したとき、または、モニターの電源を切る設定が有効に働いたとき）
		電源オフ時	0.5W以下（USB機器非接続時、DP Power Save: オン）
		主電源オフ時	0W
	省電力設定	DVI	DVI DMPM準拠
		DisplayPort	DisplayPort Standard V1.1a準拠
機構	寸法（幅×高さ×奥行き）	本体	575.0mm×417.0～545.0mm×245.5mm（チルト角0°）
		本体（スタンドなし）	575.0mm×398.0mm×75.0mm
		遮光フード装着時　横置き	582.5mm×553.0mm×369.0mm（チルト角0°）
		遮光フード装着時　縦置き	406.0mm×649.5mm×369.0mm（チルト角0°）
	質量	本体	約9.1kg
		本体（スタンドなし）	約6.5kg
		遮光フード装着時	約13.0kg
	可動範囲	チルト角度	上：30°、下：0°
		スウィーベル角度	344°
		昇降	128.0mm（チルト角度：0°）
		ローテーション	90°（時計回り）
環境条件	温度	動作	0°C～35°C
		輸送および保存	-20°C～60°C
	湿度（R.H.、非結露状態）	動作	20%～80%
		輸送および保存	10%～90%
	気圧	動作	540hPa～1060hPa
		輸送および保存	200hPa～1060hPa

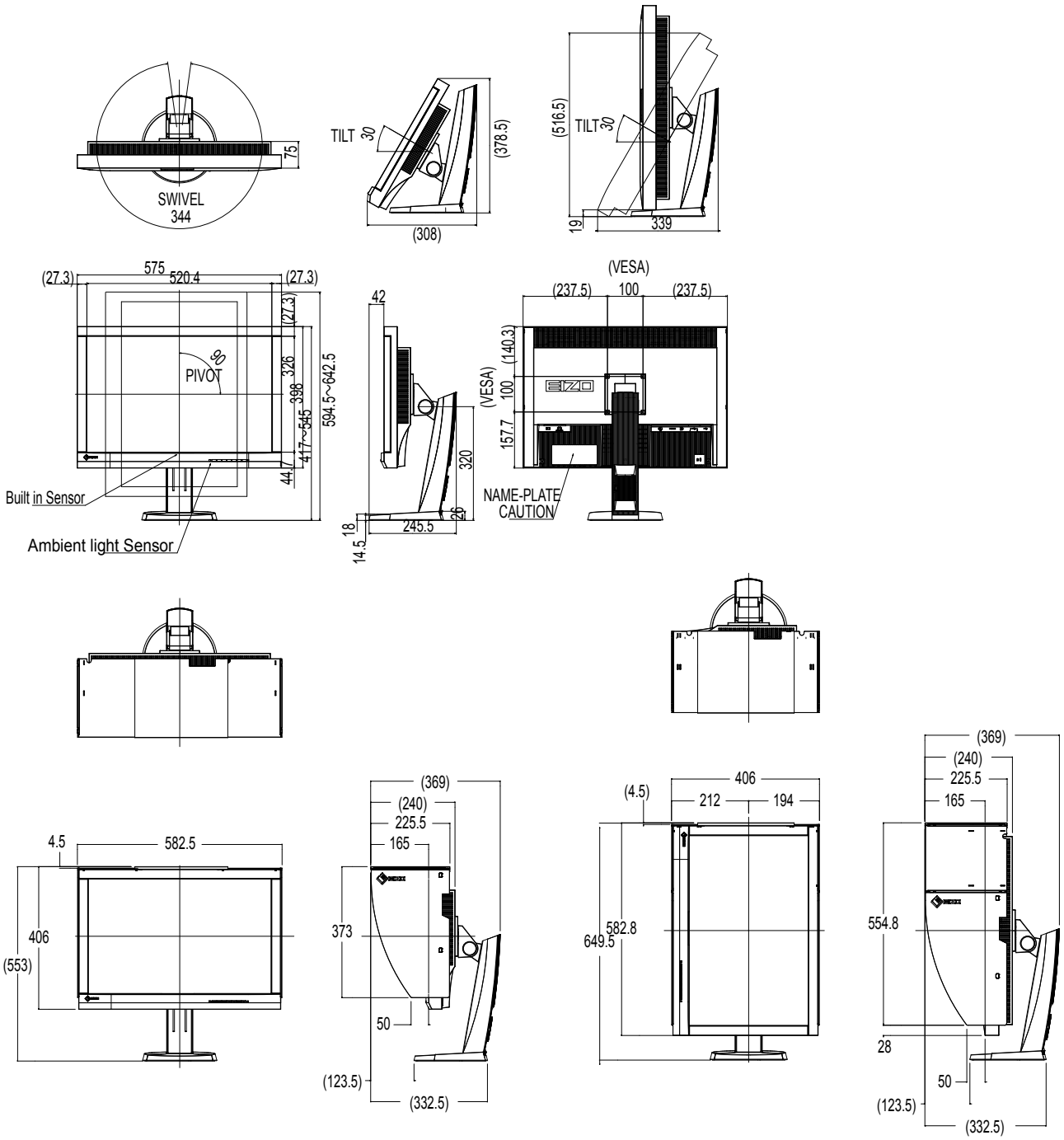
USB	入力端子	アップストリームポート×2 ダウンストリームポート×2
	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠
	供給電源	1ポートあたり最大500mA

主な初期設定値

カラーモード		Custom
画面サイズ	PC信号	フル
	Video：HD信号（HDMI）	拡大
	Video：SD信号（HDMI）	オート
オーバードライブ		オフ
カラースペース		オート
レンジ拡張	DVI	オフ
	DisplayPort / HDMI	オート
スーパーホワイト		オフ
ノイズリダクション		オフ
パワーセーブ		オン
言語選択		日本語
メニューポジション		中央
入力切替		マニュアル
USB選択		USB-1
Signal Format	HDMI	Video

外観寸法

単位：mm



オプション品

オプション品に関する最新情報および最新の対応グラフィックスボード情報は、当社のWebサイトを参照してください。

http://www.eizo.co.jp

第 9 章　用語集

Adobe®RGB

アドビシステムズ社が1998年に提唱した実用的なRGB色空間の定義です。色再現域、（色域）がsRGBなどに比べて広く、印刷などへの適合が高いという特長があります。

DCI（Digital Cinema Initiatives）

アメリカの映画スタジオが共同で設立した会社で、デジタルシネマに関する仕様を策定しています。

DisplayPort

VESAによって標準化された映像信号のインターフェース規格です。従来のDVIやアナログインターフェースを置き換える目的で開発され、DVIでは対応していない高解像度の信号や、音声信号を伝送することができます。また、10bitカラー、著作権保護技術、ロングケーブルなどにも対応しています。標準サイズとMiniサイズのコネクタが規格化されています。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。
伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応のDVI-Dコネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

EBU（European Broadcasting Union）

欧州および北アフリカの放送局からなる組織で、技術規格の策定などをおこなっています。

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。
DVIコネクタやHDMIコネクタなどを経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。
出力側と入力側の双方の機器がHDCP対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMIとは、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格の1つである「DVI」をベースにして、家電やAV機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1本のケーブルで伝送することができます。

Rec709

ITU-R（International Telecommunication Union-Radio communication Sector：国際電気通信連合の無線通信部門）が定義したデジタル放送（HDTV）の基準です。

Rec1886

デジタル放送（HDTV）のスタジオ制作で用いられるフラットパネルディスプレイの入出力特性について、ITU-RがCRTの特性を基に規定したものです。

SMPTE-C

SMPTE（Society of Motion Picture and Television Engineers：映画テレビ技術者協会）が規定した規格の一つです。

sRGB（Standard RGB）

周辺機器間（モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：昼光色と呼ばれる白色
9300K：やや青みがかった白色

オーバードライブ

液晶画素の動作時にかける電位差を大きくすることによって、応答速度を向上させる技術で、一般的に液晶テレビなどに用いられています。動画内に頻繁に現れる中間階調域の応答速度を向上させることにより、残像の少ない、くっきりとした立体感豊かな表示を提供します。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横1920個、縦1200個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920×1200の解像度であれば、画像は画面全体（1対1）に表示されます。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度（Y）と青の色差（U）、赤の色差（V）により表現するYUV、赤（R）、緑（G）、青（B）の3色の階調により表現するRGBなどがあります。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

ゲイン

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
Acrobat、Adobe、Adobe AIR、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ　システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。
Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTimeはApple Inc.の登録商標です。
ColorMunki、Eye-One、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。
Spyder3、Spyder4はDataColor Holding AGの商標です。
ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。
GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。
Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。
JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。
NECは日本電気株式会社の登録商標です。
PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。
NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。
Intel、Intel Core、Pentium、ThunderboltはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標です。
PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。
TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。
Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。
FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。
Kensington、MicroSaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。
EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。
C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。
その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス/著作権

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

中国RoHS

关于电子信息产品污染控制标识

本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 （Pb）	汞 （Hg）	镉 （Cd）	六价铬 （Cr（VI））	多溴联苯 （PBB）	多溴二苯醚 （PBDE）
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	○	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
（企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、EIZOサポートにお問い合わせください。EIZOサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- この製品の保証書はセットアップガイド（裏面）にあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。
- 当社では、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、EIZOサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定に従い、EIZOサポートにて修理または交換をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはEIZOサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、またはEIZOサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号/FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号
  （製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
  例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ/グラフィックスボード/OS、システムのバージョン/表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- エラーコード（SelfCalibrationに失敗した場合）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収、リサイクルシステムについて

- パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収、リサイクル体制を構築しており、お客様が本製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引き取りしています。
- なお、詳細な情報については、当社のWebサイトもあわせて参照してください。
（http://www.eizo.co.jp）

● 法人のお客様

本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償で一般社団法人「パソコン3R推進協会」がお引き取りいたします。当社のWebサイトよりお申し込みください。
（http://www.eizo.co.jp）

● 個人のお客様

PCリサイクルマークの無償提供について

本製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、本製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、当社のWebサイトからお申し込みください。
（http://www.eizo.co.jp）
マークは本体背面部のラベルの近くに貼り付けてください。

一般社団法人　パソコン3R 推進協会内　パソコンリサイクル受付センター
EIZO Webサイト：http://www.eizo.co.jp/support/recycle/personal/index.html
※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。
（回収担当窓口は、一般社団法人　パソコン3R 推進協会内　パソコンリサイクル受付センターにて対応いたします。）

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

PCリサイクルマークについて

個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を一般社団法人　パソコン3R推進協会内　パソコンリサイクル受付センターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、一般社団法人　パソコン3R 推進協会内　パソコンリサイクル受付センターまでお願いいたします。

一般社団法人　パソコン3R 推進協会内　パソコンリサイクル受付センター
電話：045-226-4552
受付時間：月曜日～金曜日（祝日および同センター指定の休日を除く）10:00～17:00

初版　2014 年 2 月

03V24824A2
(U.M-CG247)

Copyright © 2014 EIZO株式会社　All rights reserved.